

記者発表

令和元年8月27日

国際博物館会議（ICOM）京都大会 2019 における 和歌山県の取組のPRについて

国際博物館会議（ICOM: International Council of Museums）とは、世界の博物館の進歩発展をめざす国際的組織であり、138の国と地域の博物館関係者約4万4千500人が会員となっています。ICOMには、専門分野毎に組織されている30の国際委員会があり、年次大会では研究発表やワークショップを通して情報交換等を行っています。

このたび、3年に一度、全ての委員会が一堂に会する世界大会が日本で初めて京都府において開催されます。3,000名を超える博物館関係者が集まり、1週間にわたって、基調講演やパネルディスカッションなどの全体会議の他、委員会毎のセッションやメイン会場から離れたオフサイトミーティング、エクスカージョンなどを行います。

和歌山県では、下記のとおり、博物館施設に関する様々な取組をPRしますので、ぜひご覧ください。

記

1 ICOM京都大会 2019 メイン会場施設内での和歌山県ブースの出演

日 程：令和元年9月2日（月）～9月4日（水）

場 所：国立京都国際会館アネックスホール

参加者：ICOM 会員（非会員も参加可（参加費必要））

内 容：仏像レプリカの設置

触れる図録（視覚障がい者用点字図録）のサンプルの配布

紹介映像上映（県立博物館、県立和歌山工業高等学校等の取り組みの様子等）



3Dプリンターで制作した仏像レプリカ



触れる図録（点字図録）

※予めご登録頂いたプレスの方は、原則として無料で取材いただけます。詳細は、ICOM 京都大会 HP 内プレス <https://icom-kyoto-2019.org/jp/press.html> まで。

2 和歌山県内でのCECA（教育・文化活動国際委員会）オフサイトミーティング

目的：博物館施設の教育普及活動のPR

日程：令和元年9月5日（木）10：30～17：00

場所：県立紀伊風土記の丘、県立博物館、県立近代美術館他

参加者：110名程度（博物館教育に関わる博物館職員、大学等の研究者、大学院生）

（オフサイトミーティング行程概要）

時間	内容
10時30分 ～ 12時00分	県立紀伊風土記の丘見学
13時00分 ～ 13時40分	ランチタイムセッション（ホテルアバローム紀の国） ○Best Practice Award、Research Award 授賞式 ○『世界津波の日』高校生2018サミット in 和歌山』の取組発表 （発表者）県立串本古座高等学校及び県立耐久高等学校生徒
14時30分 ～ 17時00分	パラレルセッション（県立近代美術館・県立博物館） 和歌山県の取組発表後、参加者と意見交換を実施 ○県立博物館と県立和歌山工業高校が連携した3Dプリンターを活用した仏像レプリカの制作活動 （発表者）県立博物館学芸員、県立和歌山工業高等学校生徒 ○地域住民と『災害の記憶』の共有化をめざす印南中学校の実践活動 （発表者）県立博物館学芸員、町立印南中学校生徒 ○県立近代美術館、県立自然博物館及び和歌山市立博物館の教育普及活動 （発表者）県立近代美術館、県立自然博物館及び和歌山市立博物館の各学芸員

3 和歌山県内でのエクスカーション

目的：世界遺産高野山のPR

日程：令和元年9月6日（金）10時30分～15時30分

場所：高野山霊宝館、大門、壇上伽藍、金剛峯寺、奥之院ほか

参加者：40名（ICOM京都大会参加者）※募集終了

備考：和歌山大学学生ボランティアがツアーガイドに協力

（エクスカーション行程概要）

時間	内容
10時30分～11時30分	高野山霊宝館拝観
12時00分～13時00分	昼食（精進料理）、その後大門見学
13時15分～14時30分	壇上伽藍（根本大塔及び金堂）並びに金剛峯寺拝観
14時15分～15時30分	奥之院拝観

※建物の外からは、撮影可能です。

※ICOM 京都大会 2019 の詳細につきましては、下記 HP を参照ください。
ICOM 京都大会 HP <https://icom-kyoto-2019.org/jp>

◇問合せ先

担当課室	和歌山県教育庁生涯学習局文化遺産課
担当者	副課長 土山寛人
電話 FAX	電話:073-441-3737 FAX:073-441-3732